

鳥たちの楽園へようこそ。

ねむろバードランド フェスティバル 2009

2月7日と8日の2日間に
わたり開催された「ねむろバード
ランドフェスティバル20
09」。

今年で、2回目の開催とな
るこのイベントは、ラムサー
ル条約登録湿地「風蓮湖・春
国岱」と根室半島が織りなす
貴重な自然環境とその自然を
守り育てることの大切さを、
全国そして世界に発信するも
のです。

開催1日目の「湖上探鳥会」
は、風のない穏やかな天気
に恵まれ、風蓮湖の風物詩「氷
下待ち網漁」に群がるオオワ
シやオジロワシの雄姿に参加
者は魅了されました。湖上を
渡ることも初体験の参加者か
らは、「まるで陸の上を歩い
ているような夢の体験」と、
厳寒の根室を体感しながらの
ウォッチングに感動を隠せな
い様子です。

引き続き行われた鳥類学者
マーク・ブラジル氏と環境省
シマフクロウ検討委員山本純

半島を走る風を感じたのは

厳冬の根室から熱いメッセージを送った2日間

魅せられた心とはぐくむ心



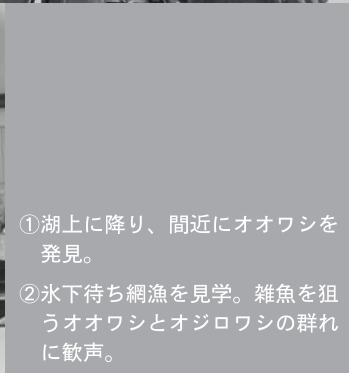
郎氏の講演会も、定員を上回
る反響を呼び開催されました。
2日目は、降雪による視界
不良のため一部行事に変更や
中止があったものの、洋上探
鳥を納沙布岬や花咲港からの
陸上探鳥に変更した「根室半
島探鳥会」では、カモ類を中
心に40種類以上の野鳥を観察
することができ、野鳥ファン
にとって魅力的な探鳥会とな
りました。

みずとりを会場に開かれた
「根室で見られる鳥写真展」
や「シマフクロウ展」などに
は多くの自然愛好家が訪れ、
手作りクラフトなどを楽しむ
ことができる「子ども広場」
も親子連れでにぎわいました。
冬だからこそ体感できる
「根室の魅力」の数々。それ
は、有用な資源として地域振
興に向けて歩み始めています。
ここに住む私たち一人ひとりが
根室の魅力を再認識し、情
報発信基地となるという役割
りを感じた開催となりました。



③案内役の説明に、双眼鏡で鳥を追う。

④笑顔で、クラフト作りを楽しむ親子。



①湖上に降り、間近にオオワシを
発見。

②氷下待ち網漁を見学。雑魚を狙
うオオワシとオジロワシの群れ
に歓声。